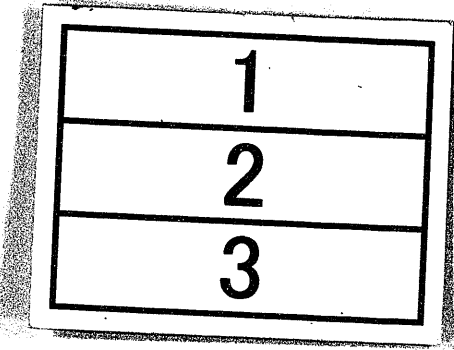


分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3 版以上のため
文書等名	感扶 第33師団同配属部隊
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

感 状

第三十三師團

同配屬部隊

歩兵第十六聯隊

野砲兵第二聯隊第一及第三隊

工兵第二聯隊第三中隊

第二師團通信隊一部

第二師團衛生隊一部

第二師團防疫給水部一部

獨立工兵第四聯隊

船舶兵第十一聯隊一小隊

電信第十九聯隊、無線一小隊

架橋材料第二十二中隊

渡河材料第十五中隊

水勤務第三中隊、一小隊(一部)

特設水上勤務第二十二中隊

第三特設水路輸送隊第一中隊

建築勤務第五十三中隊、一小隊

製材第一一小隊(二分隊缺)

患者輸送第七十中隊(半部缺)

右ハ昭和十九年七月「インパール」作戦ヲ中止シ轉進
ヲ開始スルヤ峻豪雨悪路ヲ冒シ執拗ナル敵ノ追
躡ヲ排擠シツルカ、團團結克ク後方機動ヲ完ウセリ
尙七間萬難又非シテ兵器裝備待ニ及百輛ノ自動車

獨立工兵第四聯隊
船艇第十聯隊一小隊

製材第一小隊(二分隊缺)
患者輸送第七小隊(半部隊)

右ハ昭和十九年七月「インパール」作戦ヲ中止シ轉進
ヲ開始スルヤ峻豪雨惡路ヲ冒シ執拗ナル敵ノ追
躡ヲ排擠シツテ團圍結ク後方機動ヲ完ウセリ
尚此間萬難ヲ排テ兵器裝備特ニ數百輛ノ自動車
等貴重ナル軍需品後送ヲ敢行シタルハ特筆ニ値ス
引續キ昭和二十年一月「イラワヂ」河畔ノ會戦ヲ開始
スルヤ「インパール」方面ノ要衝ヲ確保シ敵ノ絕對制
空權下優勢ナキヲ機甲部隊ニ對シ巧ニ前岸據點ヲ利
用シ將兵眞ニ敢行シ終ニ一月餘ニ亘リ克ク之ヲ拒止
敢行シ終ニ一月餘ニ亘リ克ク之ヲ拒止擊摧セリ
更ニ三月中旬以テ降敵中ニ孤立奮闘以テ全局ノ作戦
ニ大イニ寄與スルコト月餘次テ「メ」クテ「ラ」方面
ニ轉進ヲ命セテ「ル」ヤ重圍ヲ突破シ齊整タル行動
ノ下克ク敵ヲ制シテ機宜ノ戰略態勢ニ轉移シ方面
軍全般作戰特ニ「ク」テ「ラ」方面ノ作戦指導ヲ容
易ナラシメ

空權下優勢ナリ
 用シ將兵真ニ
 敢行シ終ニ
 更ニ三月中旬
 二大イニ寄與
 一轉進ヲ命セ
 ノ下克ク敵ヲ
 軍全般作戰特
 易ナラシメ
 是實ニ師團長田
 二其ノ高潔ナル
 將兵以下鐵石ノ
 ナリ
 仍テ茲ニ感狀ヲ
 授與ス

甲部隊ニ對シ
 二數回ニ及
 フ挺進斬込ヲ
 拒止擊摧セリ
 テ全局ノ作戰
 齊整タル行動
 轉移シ方面
 二轉移シ方面
 作戰指導ヲ容
 易ナラシメ
 是實ニ師團長田
 二其ノ高潔ナル
 將兵以下鐵石ノ
 ナリ
 仍テ茲ニ感狀ヲ
 授與ス

昭和二十年五月二十六日

緬甸方面軍司令官陸軍大將

正四位
 勲一等
 功三級

木村兵太郎

印